特長

- イニシャルコスト 約30%～50%削減
- 装置設置面積 約30%～50%削減
- 汚泥濃縮槽が不要

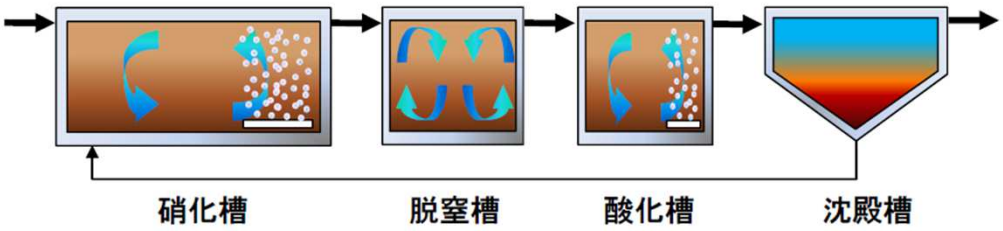
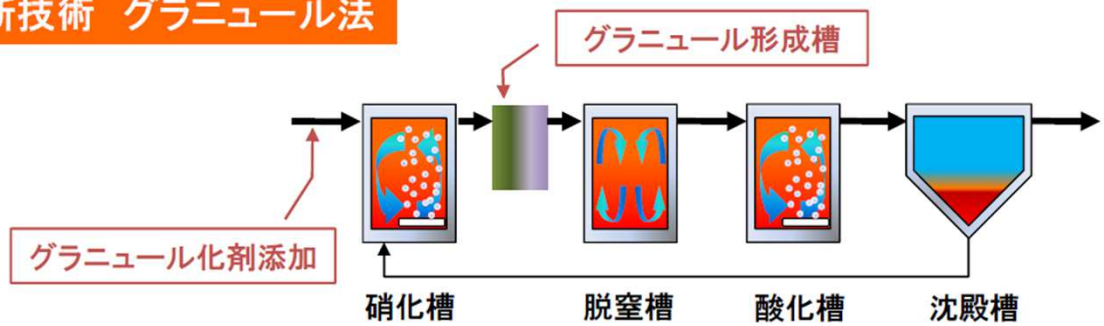
従来法との処理速度比較

汚泥活性法	担体法	グラニュール法
―	1.5～2倍	3～4倍

※活性汚泥法を1とした場合

従来法との比較

従来法：活性汚泥法



新技術　グラニュール法